

審議会等名	令和6年度つくばみらい市認知症初期集中支援チーム検討委員会
開催日	令和7年2月12日（水曜日）
開催場所	つくばみらい市役所 伊奈庁舎 3階 大会議室
出席者	出席委員 宮本 瞳会長、菊池 芳英委員、江湖山 さおり委員、 飯島 由美子委員、市毛 良香委員 チーム員 小松崎医師、堤精神保健福祉士、土井保健師、横田看護師、 藤木看護師 事務局 保健福祉部：片倉部長 介護福祉課：成嶋課長、飯泉課長補佐、原田係長、幕田保健師 社会福祉協議会：浅川局長、伊藤課長 地域包括支援センター：阿部センター長
議案	(1) 認知症初期集中支援チーム活動報告 (2) その他
議案概要	1 開会 午後6時30分 2 会長あいさつ 3 委員及び事務局紹介 4 議事 (1) 認知症初期集中支援チーム活動報告について <資料にもとづいて事務局より説明> (宮本会長) ご意見、ご質問や感想等ありますか。 (宮本会長) 報告の中で、家族からの相談が最も多いとの報告がありました。認知症初期集中支援に関して市民の認知度が上がっていると感じますがいかがでしょうか。 (事務局) 認知症初期集中支援チームは地域包括支援センター内にあり、包括職員が対応しているため、「認知症についての相談は地域包括支援センターへ」という周知啓発を行っています。そのため、地域包括支援センターの認知度が上がっているのではないかと考えています。 (菊池委員) 今年度はケアマネジャーへの周知に力を入れたとのことでしたが、ケアマネジャーからの相談件数は増えていますか。 (事務局) 家族からの相談が増えています、ケアマネジャー含め事業所からの相談件数は横ばいの状況です。今後も周知啓発を行っていきたいと考えております。

(菊池委員)

ケアマネジャー間では、認知症により行方不明になって警察に保護していただく方などが増えていると感じています。引き続き、支援が難しいと感じた場合は地域包括支援センターへ相談できるよう、ケアマネ会等で私も周知していきたいと思います。

(2) その他

<資料にもとづいて事務局より説明>

(宮本会長)

ご意見、ご質問や感想等ありますか。

(市毛委員)

認知症カフェはどのくらいの方が参加されていますか。

(事務局)

市内2ヵ所で定期的を開催しており、各会場運営ボランティア含め約15名の方が参加しています。

(市毛委員)

認知症カフェが認知症のご本人とその家族の心の支えとなっている方もいらっしゃいます。地域にこのような資源があるのはとても良いことだと思います。

(飯島委員)

認知症ステップアップ講座にご協力させていただきましたが、具体的についてのことについてのグループワークを取り入れており、参加者の皆さんが真剣に考えてくださっていました。

質問ですが、本人発信支援ということで、認知症サポーター養成講座に認知症ご本人に登場していただいたとのことですが、具体的にどんなお話をしていただいたのか教えてください。

(事務局)

講座の中で、ご本人が得意な音楽の演奏を披露いただきました。また、講座後にご本人からご挨拶をいただき、物忘れがありますが、私は友人に囲まれて楽しい日々を送っています、とお話をいただきました。ご一緒に来ていたご友人からも、認知症になっても友人には変わらない、できる限り支えていきたいとお話をいただきました。

(江湖山委員)

チームオレンジの活動はいかがでしょうか？

(事務局)

チームオレンジは市内に1ヵ所活動しております。認知症のご本人も交えたサロンとして活動しております。このサロンは年々参加者数が増加しており、一緒に活動してくださる運営スタッフを養成するため、今年度認知症サポーターステップアップ講座を開催しました。今年度はもう1ヵ所、ボランティア団体より認知症カフェの立ち上げの相談があり、ステップアップ講座を開催しました。こちらの団体は引き続き認知症について勉強し、認知症カフェを立ち上げたいとの希望があります。

	<p>(菊池委員) 市民向け研修会について、参加者の属性を教えてください。</p> <p>(事務局) ボランティアとして普段活動している方や介護事業所の方が約半数、一般の市民としての参加が半数程度でした。一般の市民の方の参加が増えるよう、さらなる周知を行っていきたいと考えています。</p> <p>(菊池委員) 介護している家族、特に40～50代の方はなかなか参加が難しい状況だと思います。自分事として考えてもらえる方法について、今後も一緒に考えていきたいと思います。</p> <p>(宮本会長) その他ご質問等ないようですので、本日の議事をすべて終了いたします。</p> <p>5 閉会 午後7時20分</p>
<p>そ の 他</p>	<p>傍聴人 1人</p>